

「お試し居住@金沢区」を実施します！

～LINKAI 横浜金沢と金沢シーサイドタウンの職住近接を推進～

金沢区臨海部には、様々な産業が集積するエリア LINKAI 横浜金沢※1 がありますが、中小企業を中心に人材確保が課題となり、従業員の働きやすい環境が求められています。また、金沢区は人口減少、少子高齢化が進展し、住宅地をはじめとするまちの活性化は大きな課題であり、「住む」住宅地から多世代の「住む」「活動する」「働く」を実現できる住宅地にしていくことが重要です。

昨年度に引き続き、LINKAI 横浜金沢の職住近接の取組として、横浜市住宅供給公社と連携して、「お試し居住@金沢区」を実施します。

産業団地で働く方に、隣接する金沢シーサイドタウン※2 エリアに約2週間実際に住んでいただくことで、職住近接の利点や金沢区の魅力を知り、金沢区への定住促進を図っていきます。



実施概要

実施期間： **第1期** 平成30年7月21日（土）～8月5日（日）
第2期 平成30年8月11日（土）～8月26日（日）

場所： シーブリーズ金沢※3
(金沢区柴町365-2、横浜市住宅供給公社管理)

間取り： 3DK (62.29㎡)

対象者： LINKAI 横浜金沢に勤務している従業員及びその家族

実施数： 4組 (第1期：2組、第2期：2組)
5月中旬～6月中旬に当エリアの企業及び従業員に対して募集を行い、10組の応募がありました。

●設備

実施期間中、最低限の生活に必要な家具、家電(冷蔵庫・洗濯機・炊飯器・テレビ・エアコン等)、寝具を用意しています。

その他、着替えや寝間着、タオル類、化粧品等の生活必需品などは参加者に持参していただきます。

●その他

お試し居住後は、参加者へインタビューを行い、今後の職住近接の取組検討に活用していきます。

参加者は、お試し居住後、改めて横浜市住宅供給公社と契約し、正式に居住することが可能です。



裏面あり

<昨年度のお試し居住(実施数1組)>

実施結果：お試し居住後に、シーブリーズ金沢付近の賃貸住宅へ入居

参加者の感想：通勤時間が短縮され、八景島までランニングしたり散歩したりなど余暇ができました。周辺の環境が良かったです。

※1 LINKAI 横浜金沢（金沢臨海部産業団地）

1960年代から住工混在などの解消を目的に埋め立てられた、産業集積エリア。1,000を超える企業・事業所が立地している。特徴として、製造業、卸・小売業、運輸・物流業を中心に主に中小企業が多く集まっており、特定の分野で高いシェアを持つ企業なども多い。

※2 金沢シーサイドタウン

横浜市の6大事業のうちの1つである金沢地先埋立事業と合わせて造成され、榎文彦氏をはじめとする建築家が計画に参画。1978年から1983年にかけて各団地で居住を開始。

※3 シーブリーズ金沢

ホームページ URL 及び QR コード : <http://www.yokohama-livein.jp/housing/detail.html?10201>



報道機関の方へ・・・

実際に住まれる部屋をご覧いただくことも可能です。取材をご希望の方は7月18日(水)までに金沢区区政推進課までご連絡ください。

お問合せ先

◆本取組について 金沢区区政推進課長	八谷 将人	Tel 045-788-7720
◆持続可能な郊外住宅地モデルの構築・推進について 建築局住宅再生課担当課長	竹下 幸紀	Tel 045-671-4458
◆住宅について 横浜市住宅供給公社街づくり事業課事業推進担当課長	太田 祐輔	Tel 045-451-7821